

市長と語ろう！中央区のまちづくり

住みよいまちづくりに向けて、区民と市長がじっくりと意見交換する「ふらっとホーム」。中央区では平成24年10月13日に中央保健センター（南3西11）で「ふらっとホーム2012in中央区」を開催しました。



これまでにいただいたご意見により、区役所1階ロビーに「子ども情報スペース」を設け、絵本の読み聞かせを行うという具体的な取り組みに結びついた事例もあります。

今月号では、参加いただいた8人の方々からの貴重なご意見・ご提案と、それに対する上田市長などからの回答を、テーマごとにご紹介します。

テーマ

市電など公共交通に関すること

使いやすく採算の取れる市電を



土屋さん（60歳）

代）今後の市電については、例えば自転車を乗せて行き来できるようなにするなど利便性を高くし、採算性を考えた取り組みをしてもらいたいと思います。



上田市長

ループ化によって非常に使い勝手が良くなり、観光客にも喜んでもらえると思います。ですので、多くの方に乗ってもらえるようしっかり取り組んでいきます。自転車については、想定している電車のサイズではちょっと難しいかなと思います。そのような面白い発想で、このまちをもっと楽しくしていきたいと思っています。

段差の無い安全な車両を

中村さん（60歳代） 電車の乗り降りの際に段差が怖



岸中央区長



利用しやすい電停に

増やしていく予定です。6月からはSAPICAも市電で使える予定です。

石川さん（60歳代）



横断歩道に接していないため、視覚障がいのある方、車いすの方、高齢者などが利用しにくい電停があります。交通局に申し入れをしたところ「電停の改修は道路の拡張事業と連携して計画的に行う」とのことでしたが、今すぐでき

テーマ

地域における保健・福祉・医療のあり方

ることとしてカラーで横断歩道をつくったり、弱者に優しい特殊な信号機を付けられないかということをお願いしたいと思います。



平成25年度導入予定の新型低床車両
バリアフリー対応で定員も2割増えます。

やる努力をしていきたいと思えます。

ご近所との交流が大切



高橋さん（80歳代）

のご意見などについては本誌6・7ページに掲載しております。

福祉情報の発信充実を



遠藤さん（30歳代）

高齢者・障がいのある方やその家族などに最寄りの福祉施設が行っているサービスや、お手伝いを

したいという方へのボランティア講座などを周知する方法を考えてほしいと思います。

上田市長 コールセンターを利用していただいたり、市内に87カ所あるまちづくりセンターに困り事を言っていたりすれば情報の整理や接続が可能だと思います。これらの機能については多くの市民の皆さまに知ってもらい努力をもっとしながら、みんなで支え合って安心できるまちにしたいと思えます。